

受動喫煙で年1万5000人死亡

厚労省推計 半数以上は脳卒中

受動喫煙が原因で死亡する
れ、2倍以上になった。

人は、国内で年間約1万5千人に上るとの推計を厚生労働省の研究班が30日までにまとめた。2010年の推計では約6800人で、その後脳卒中との因果関係が明らかになったことから、脳卒中による死亡の約8千人が上積みさ

担当した国立がん研究センターの片野田耕太室長は「受動喫煙を減らすために国レベルで法規制するのが国際的な流れ。日本も最低限、職場や公共施設の屋内を禁煙にするべきだ」と話す。

研究班は、自分がたばこを

受動喫煙による年間死亡数の推計

■ 肺がん	2480人
■ 虚血性心疾患	4460人
■ 脳卒中	8010人
■ 乳幼児突然死症候群	70人

計 約1万5000人

(厚労省研究班による)

吸わないのに他人が吸うたばこの煙にさらされる受動喫煙

の割合や、受動喫煙と因果関係があると思われる肺がん、心筋梗塞を中心とする虚血性心疾患、脳卒中などによる死亡統計を基に、年間の死亡数を推計した。その結果、肺がんは24,800人、虚血性心疾患は4,460人、脳卒中で8010人、乳幼児突然死症候群（SIDS）で70人が死亡すると推計された。その結果になった。職場では男性3,680人、女性4,110人、男性8,400人、女性8,400人と推計された。